

令和2年度 第20回政策推進会議報告

日 時 3月23日 16時15分～16時30分

場 所 4-1会議室

出席者 18人

1 尼崎市自転車のまちづくり推進計画の改定（素案）に対する市民意見公募手続の結果について

危機管理安全局長から資料に基づき報告。

2 尼崎市一般廃棄物処理基本計画（素案）に対する市民意見公募手続の結果及び尼崎市災害廃棄物処理計画の策定について

経済環境局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）西宮市と芦屋市が共同でごみ処理施設を作ろうと検討していたが破談になったことは皆さんも報道等でご存知だと思ふ。今後は西宮市も尼崎市同様に自分たちの市内で焼却炉の集約を図っていくという方針転換をするようで、災害発生時等のいざという時は助け合えるように協定を結んでいこうという話が西宮市から来ている。今回の尼崎市災害廃棄物処理計画では、市内でどういうプロセスで災害ごみを処理していくかということを計画しているが、広域連携においても様々な動きに対応していこうということである。尼崎市も西宮市も、これからはどうしても総人口が減っていくことになるので、ゆめゆめ過剰施設にならないように、しっかりと身の丈に合った処理施設の建設を目指していきたい。
- ・（市長）一般廃棄物処理基本計画も、案件1の自転車のまちづくり推進計画も、パブコメでは意見なしとなった。先般、環境審議会においても答申をいただいたが、やはりどの審議会からも「パブコメの意見がないことについてどう受け止めているのか、これでいいのか」というご指摘をいただいている。ただ、これは私たちの取組が後退しているとは限らなくて、パブコメに至るまでの市民意見聴取プロセスにおいて、様々な団体と協働が進んだり個別に意見をいただいたりした結果、パブコメの段階では意見が出なかったということも考えられる。そういう色々なケースが出てきているので、市民意見聴取プロセス制度については、どのような場で意見をいただき、それをどう反映させたか、そしてそれをどのように発信し説明していくのか、そろそろ次のステップを考えていく段階なのかなという印象を受けている。今回の一般廃棄物処理基本計画に関しては、ごみという非常に身近な内容であるにもかかわらず、ここまで無反応でいいのかということについて、やはり厳しくご指摘をいただいている。一方で、前回の政策推進会議でお伝えした（仮称）尼崎市脱炭素行動宣言も今年6月に表明予定であり、その中では脱プラスチックや、大量生産・大量消費・大量破棄を見直していくということを宣言していくので、そういった機会も捉えながら、もう一度市民の皆さんと色々な危機感を共有していきたいと思ふ。市民意見聴取は終わりが無い取組で、その時々の問題意識で工夫をしていかないといけないと改めて感じている。

3 令和3年度向け役職者の人事異動について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 今回、係長級の女性の昇任割合が前年より下がってしまっているが、年齢平均を見ていただいてもわかるとおり、ちょうど係長級への昇任のあたりで女性は出産年齢にも掛かってくるため、産休等と同時期に昇任ということがなかなか難しいというような現状もある。そういった中で、出産そのものほか、働き方改革、少なくとも育児も含めてジェンダーにとらわれない職場づくりということをしっかり進めていかない限り、役職者の女性比率はなかなか上がらないと感じているので、やはり職場改革には令和3年度も頑張って進めていきたいと思っている。
- ・(市長) このあと内示書を配付するが、色々と至らない点もあると思うものの、反面、「こういうことを期待している・狙いにしている」というような人事ももちろんある。各局において配置の意図に疑問があれば、本人でも上司でもいいし、年度を超えてからでもいいので、積極的に三役へ尋ねていただいて構わない。互いの思いがすれ違ったままではよくないと思うので、ぜひ遠慮なくそういったやりとりを行い、情報共有しながらより良い職場づくりに努めていきたいと思うのでよろしく願います。

4 その他

○ 総合政策局長から、第50回(令和3年度)市民まつりについて説明。(以下、質疑等)

- ・(市長) まだまだコロナの見通しが見えない中ではあるが、ここ数年チャレンジを始めている協働を更に促進させるツールとして、この市民まつりを位置付けられないかと考えている。各局で行っている市民や色々な団体・企業とコラボしている取組について市民まつりを通じて見える化できないかとか、これを1つの機会にできないかという発想をぜひ持っていただいて、ご協力と積極的な姿勢での取組をお願いしたい。

以 上